

令和7年3月7日 報道発表資料

「南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー」の20ページ
修正内容 観測値と計算値の比較図（国土地理院資料）の差し替え

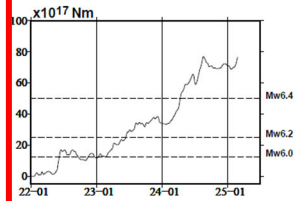
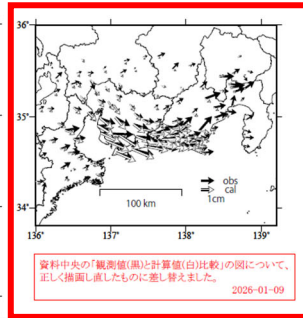
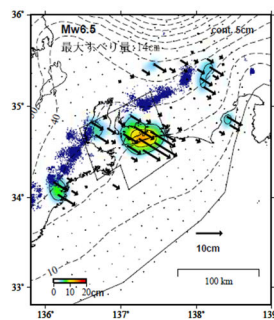
正

GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2022-01-01/2025-02-26)

観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-02-26)

モーメント* 時系列（試算）



※及び最大すべり量はプレート面において算出した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは各ポイントに算出したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（σ）の3倍以上のグッドを示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)

F5解 (2021-07-01/2025-02-08) + R5解 (2025-02-09/2025-02-26)

トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年間・半年成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 右図の境界内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

断層線: フィリピン海プレート上面の断層線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2022-01-01/2025-02-26)

固定局: 三隅

- *電子基準点の保守等による変動は補正している。
- *平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している (Saito 2017)
- *気象庁カタログ(2017年以降)の短期ゆっくりすべりを補正している。
- *共通誤差成分を推定していない。
- *令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
- *令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している。
- *モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院

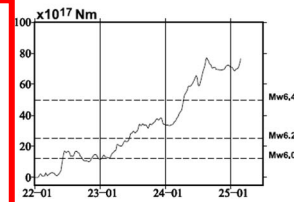
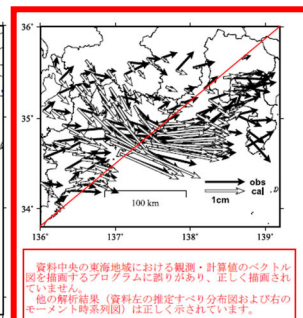
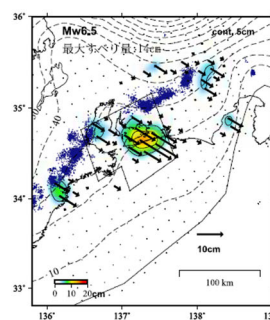
誤

GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2022-01-01/2025-02-26)

観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-02-26)

モーメント* 時系列（試算）



※及び最大すべり量はプレート面において算出した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは各ポイントに算出したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（σ）の3倍以上のグッドを示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)

F5解 (2021-07-01/2025-02-08) + R5解 (2025-02-09/2025-02-26)

トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年間・半年成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 右図の境界内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

断層線: フィリピン海プレート上面の断層線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2022-01-01/2025-02-26)

固定局: 三隅

- *電子基準点の保守等による変動は補正している。
- *平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している (Saito 2017)
- *気象庁カタログ(2017年以降)の短期ゆっくりすべりを補正している。
- *共通誤差成分を推定していない。
- *令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
- *令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している。
- *モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院